

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：重要港湾改修事業
- 路線名又は箇所名：伊万里港久原北地区
- 事業の概要
 - 工 期：昭和57年～平成20年度
 - 事業費：約31億円
 - 事業内容：航路（-10m）浚渫工 1,713千m³
泊地（-10m）浚渫工 1,661千m³

【公共事業の効果等】

- 事業の効果（1）
 - 背後圏の伊万里団地が完売
- 事業の効果（2）
 - 航路を利用する企業活動の活性化

【事業実施前の状況等】

- 昭和46年伊万里港久原地区は木材加工産業が活況を呈しており、背後地域の木材加工業を対象とする貨物の輸入が可能な港湾施設の整備が要請されている。
- また、昭和48年工業団地（伊万里団地）が着工し、楠区地区の開発計画が具体化したことにより団地を形成する企業が使用する原材料の移入が可能な港湾施設の整備が要請されている。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 伊万里港背後圏の伊万里団地の分譲が順調に進み、現在では完売している。
- 今回整備した航路を使用する専用岸壁を備えた木材取扱い企業が伊万里港に進出。航路・泊地が完成し、航行の安全が図られるとともに、航路での行き交いも可能となったことで、専用岸壁の木材の取扱い量は順調に伸びている。